

このほど、第2回定例会市議会の議決を経て、平成15年度の補正予算が成立しました。上田市長就任後初の政策予算には、最重要課題ともいえる経済・雇用対策をはじめ、子育て支援や地球温暖化対策、市民自治を推進する取り組みなど、将来を見据えた施策が幅広く盛り込まれています。

元気な経済が生まれ安心して働ける街。

集客交流・シティPRキャンペーン事業 [3,450万円]

市民・企業の意見を取り入れながら、来客数増加のための取り組みを積極的に進めます。札幌を訪れる人々を温かく迎える「おもてなしの心」（関連のお知らせ22頁）、札幌の魅力を「視覚で訴えるPR」、多くの人が来札するきっかけとなる「コンベンションの誘致」の3つを柱に、一層の集客効果を目指します。

国内観光促進事業 [1,680万円]

全国からの観光客数の増加をねらい、他都市の旅行業者や報道関係者を対象にしたPR活動などに取り組みます。

中国駐在員事務所開設 [2,750万円]

観光PRのほか、市内中小企業の対中国ビジネスの橋渡しの機能を持つ「駐在員事務所」を、11月、中国北京市に開設します。

札幌元気基金関連調査 [300万円]

中小企業や起業に挑戦する市民の方などを支援する「札幌元気基金」の枠組みづくりに当たって、中小企業の意向や、より実効性のある支援策について調査します。

中小企業金融対策資金貸付 [98億4,000万円]

厳しい中小企業の資金繰りに配慮し9月～3月の新規貸し付け分を追加したほか、ISO認証取得資金枠を新設しました（申込案内は31頁参照）。

建設業等構造不況業種対策関連 [2,103万円]

力強い建設業への転換や他分野への進出を促進するため、総合的に支援します（関連のお知らせ31頁）。※そのほか、一定の条件を付けた入札により、約11億円の公共事業を実施します。

市民が支えあい、地域で福祉を育む街。

次世代育成支援地域行動計画策定 [540万円]

次世代を担う子供が健やかに生まれ育つ環境を整備するため、保育・教育・母子保健の関係者や、市民などによる協議会で検討を進めながら、行動計画を策定します。子育て家庭の実態や意識を把握するため、市民の皆さんとの懇話会やアンケート調査も実施します。

母子緊急一時保護事業 [120万円]

夫の暴力などで緊急避難が必要な女性や親子を、一時的に保護する施設を1室増設。利用開始は9月の予定です。

児童虐待発生予防・育児支援強化事業 [900万円]

医療機関と保健センターが連携を図りながら、育児に不安を抱える方などに対して、保健師の訪問指導などによる早期の育児支援を行います。

(仮称)札幌市視聴覚障害者情報文化センター設計 [1,300万円]

視力障害者福祉センター（中央区北2西12）と、市内初となる聴覚障がい者の情報提供施設との複合施設を、女性センター（中央区大通西19）の跡に設置するための設計を行います。

地域療育等支援施設事業 [936万円]

在宅の障がいのある方が、身近な地域で専門職員などによる療育指導や相談支援を受けられるように、2施設追加します。追加施設：むぎのこ（東区北36東8）、こもれび園豊平区分室（豊平区西岡5の14）

歯周疾患検診 [997万円]

40歳と50歳の方を対象に問診や口腔内診査などを実施します。

※コンベンション＝国際会議やイベントなど多くの人が集まる催しの総称。

経済・雇用対策

- ◎中小企業や市民などへのきめ細かな支援
- ◎来客2,000万人を目標に、市民・企業・市役所の協働による観光客やコンベンション誘致の推進

地域福祉の推進

- ◎地域での子育て支援の推進
- ◎高齢の方・障がいのある方の自立支援の促進

市役所改革

参加のシステムの促進